



## 2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月10日

上場会社名 note株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5243 URL https://note.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 加藤 貞顕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鹿島 幸裕 (TEL) 050(1751)2329  
 四半期報告書提出予定日 2024年7月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年11月期第2四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	1,616	—	12	—	15	—	14	—
2023年11月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 14百万円(—%) 2023年11月期第2四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	0.92	0.90
2023年11月期第2四半期	—	—

(注) 2024年11月期第四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	3,556	1,622	45.3
2023年11月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 1,612百万円 2023年11月期 ー百万円

(注) 2024年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期の数値については記載していません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,350	—	△80	—	△80	—	△82	△5.34

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(注) 特定子会社には該当しませんが、2023年12月より「note AI creative株式会社」を連結子会社としております。  
また、2024年5月より「Tales & Co. 株式会社」を連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年11月期2Q	15,366,400株	2023年11月期	15,234,200株
2024年11月期2Q	123株	2023年11月期	一株
2024年11月期2Q	15,343,421株	2023年11月期2Q	14,987,869株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について

当社は、2024年7月10日(水)に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の沈静化により国内の経済・消費活動は正常化が進み、景況感が回復してきた一方で、世界的な資源価格の高騰や不安定な為替の動向、商品・サービスの値上げによる物価高等により依然先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、note事業（クリエイターがユーザーとコミュニケーションをとりながらデジタルコンテンツを創作・公開・販売できるプラットフォーム「note」の運営）、note pro事業（法人向け情報発信SaaS「note pro」の運営）、法人向けサービス事業（「note」上での企業協賛型コンテストの実施など）を主要な事業として展開してまいりました。

「note」については、継続的な機能改善によってプラットフォームに集まるユーザー・コンテンツが順調に増加しており、2024年5月末時点で累計会員登録者数は816万人、公開コンテンツ数は4,530万件となりました。当第2四半期連結会計期間における流通総額は4,175百万円（前年同期比25.9%増）となり、引き続き高水準で推移しています。「note pro」については、noteのサービス成長に伴う企業からの認知度向上により引き続き利用企業は増加しており、2024年5月末時点でARR（注）1は505百万円（前年同期比21.5%増）となりました。法人向けサービス事業については、「note」のユーザー数増加などにより、「noteコンテスト」案件が堅調に推移しております。また、販売費及び一般管理費として、noteの利用者拡大を目的とした販売促進費やプロダクトの開発コスト等を継続的に計上しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,616,109千円となりました。内訳は、note売上高1,322,133千円、note pro売上高248,521千円、法人向けサービス売上高37,437千円、その他売上高8,017千円です。また、営業利益は12,091千円、経常利益は15,801千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,042千円となりました。

なお、当社グループはメディアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注) 1. ARR=Annual Recurring Revenueは、各四半期末月のMRR<sup>(註)2</sup>を12倍したものの。

2. MRR=Monthly Recurring Revenueは、月次経常収益。MRRには、note proの基本料金に加え、一部オプション料金も含む。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,556,923千円となりました。

流動資産は3,489,946千円となり、その主な内訳は、現金及び預金2,011,828千円、受取手形及び売掛金185,527千円、未収入金1,184,617千円です。

固定資産は66,977千円となり、その内訳は、有形固定資産15,122千円、投資その他の資産51,855千円です。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,934,255千円となりました。

流動負債は、1,854,255千円となり、その主な内訳は預り金1,535,180千円です。

固定負債は80,000千円となり、その内訳は長期借入金80,000千円です。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,622,667千円となりました。その主な内訳は、資本金28,383千円、資本剰余金1,985,070千円、利益剰余金△400,800千円です。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,011,828千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、67,885千円となりました。これは主に、「note」の流通総額の伸長などによる未収入金の増加額181,923千円により資金が増加した一方で、税金等調整前四半期純利益が15,801千円であったことに加え、「note」の流通総額の伸長などによりクリエイター向けの預り金が増加したことなどによる預り金増加額239,322千円により資金が増加したことなどによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、961千円となりました。これは、業務用PCの購入等による有形固定資産の取得による支出961千円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、43,303千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入36,766千円があったものの、長期借入金の返済による支出80,000千円があったことなどによります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、「note」の安定的かつ継続的な成長を軸として、さらなる成長のため、「note」及び「note pro」の競争力の源泉となる機能開発に引き続き投資を進める方針です。

2024年11月期の連結業績に関しては、2024年4月10日に開示いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,011,828
受取手形及び売掛金	185,527
仕掛品	335
未収入金	1,184,617
その他	107,637
流動資産合計	3,489,946
固定資産	
有形固定資産	15,122
投資その他の資産	51,855
固定資産合計	66,977
資産合計	3,556,923
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	266
未払法人税等	1,758
預り金	1,535,180
その他	317,050
流動負債合計	1,854,255
固定負債	
長期借入金	80,000
固定負債合計	80,000
負債合計	1,934,255
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	28,383
資本剰余金	1,985,070
利益剰余金	△400,800
自己株式	△69
株主資本合計	1,612,583
新株予約権	10,084
純資産合計	1,622,667
負債純資産合計	3,556,923

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,616,109
売上原価	91,070
売上総利益	1,525,038
販売費及び一般管理費	1,512,947
営業利益	12,091
営業外収益	
受取利息	8
違約金収入	11,717
その他	2,340
営業外収益合計	14,065
営業外費用	
支払利息	506
為替差損	8,462
その他	1,386
営業外費用合計	10,355
経常利益	15,801
税金等調整前四半期純利益	15,801
法人税、住民税及び事業税	1,758
法人税等合計	1,758
四半期純利益	14,042
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,042

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	14,042
四半期包括利益	14,042
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	14,042



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	15,801
減価償却費	4,604
受取利息	△8
支払利息	506
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,947
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△50
仕入債務の増減額 (△は減少)	△663
未収入金の増減額 (△は増加)	△181,923
未払金の増減額 (△は減少)	1,641
未払費用の増減額 (△は減少)	△493
前受金の増減額 (△は減少)	5,754
契約負債の増減額 (△は減少)	29,174
預り金の増減額 (△は減少)	239,322
その他	△34,840
小計	70,876
利息の受取額	8
利息の支払額	△506
法人税等の支払額	△2,496
法人税等の還付額	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,885
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△961
投資活動によるキャッシュ・フロー	△961
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△80,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	36,766
自己株式の取得による支出	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,303
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,620
現金及び現金同等物の期首残高	1,988,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,011,828

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は次のとおりです。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 2社

連結子会社の名称 note AI creative株式会社、Tales & Co. 株式会社

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。